

令和5年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月26日(土)①

担当部局・担当課名: 教育委員会教育企画課

事業名	とやま科学オリンピック開催事業	評価結果	一部改善
-----	-----------------	------	------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・参加していない子供たちの、参加しない理由を把握するべき。
- ・自ら考えて取り組む生徒を育てたいということであれば、参加者がどのようなことを事前に準備してきたか把握をするべき。
- ・参加者だけではなく、科学への興味の裾野を広げる努力がもっとあってもよい。
- ・中学チームが7年ぶりに全国優勝を果たしたというところが一つの評価になるのであれば、事業目的をこちらに特化するという考え方もある。
- ・科学の甲子園の予選として外注してはどうか。

【県民評価者の意見】

- ・多くの生徒に興味を持ってもらえるように、毎回1校をランダムに選んで参加してもらおうと面白いのではないか。
- ・作問に意欲的な志の高い教員を作問委員として選ばばよい。
- ・科学はすぐに成果を評価できるものではなく、10～20年後に発明に繋がるかもしれない。評価しづらくてもそのままよい。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者の評価シートによる評価				県民評価者総数	16
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (事業の廃止)	役割分担 見直し (実施主体の変更)	抜本的改善 (県の独自性不要等大 きな考え方の見直し)	一部改善 (アンケートの取り方、 経費などの見直し)	現行どおり ・拡充
	3	0	2	10	1
県民評価者の 主なコメント	【一部改善】 ・もともと科学に興味のある子が参加しているため、事後アンケートの評価は当然高くなる。目標や成果の見直しが必要ではないか。 ・子供たちの科学力向上、教育等指導者の資質向上のどちらに力を入れるのかわからない。 ・チラシを見たことがなかったので、認知度向上も目指したらよいと思う。 ・作問にかかる教員の負担を減らすために、研究者に頼るなど、見直しが必要だと思う。 ・設問作成を外注するのがよいのではないか。 ・ふるさと教育の要素は不要ではないか。				
	【行政の関与不要】 ・行政の役割として広く、子供たちの科学に関する関心を高めることにある。 ・既に科学に興味を持っている子供たちに競わせるのも必要だが、もっと裾野を広げることも必要ではないか。 【抜本的改善】 ・中学校、高校に対する周知不足ではないか。 【現行どおり・拡充】 ・事業を知らなかったのもう少し宣伝等をしたほうがよいと思う。				

【参考】委員による評価

【参考】委員による評価				委員総数	4
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	0	0	1	2	1